



ことば遊び ~よく聞いて手を叩こう!~

「かい」ということばは、「か」の音と「い」の音の、2つの音でできているように、言葉は音がいくつか集まってできています。話している言葉は、音がいくつ並んでいるのかと少し意識をすることで、「よく聞く」ことができるようになり、はっきりした発音につながっていきます。まずは、真似して手を叩いて遊び、次に、言葉を言いながら手を叩いて遊びましょう。

★真似して手を叩こう!

○ お家の人 hands を叩くのを聞いて、真似をして叩いてみよう! 何回叩いたかな?

~大人の方へ~

- ・ 「いくよ。(3回なら)!!! どうぞ」というように、手を叩く「始め」と「終わり」をはっきり示してあげましょう。いつ集中して聞いたらよいか分かります。
- ・ 回数は、多くなれば難しくなりますが、何回叩いたかを、お子さんと一緒に数えてあげてください。何回叩いたかが分かると、自信をもって手を叩くことができます。

★ことばの音の数だけ、手を叩こう!

○ ことばを言いながら、お家の人と手を叩こう!

【例:「すいか」では「す・い・か」と言いながら手を1回ずつ叩く(この場合は3回)】

○ いろいろなことばで遊んでみよう! 2音や3音ができたら、音を増やして挑戦してみよう!

| 【2音】 | 【3音】 | 【4音】 | 【5音】 |
|-------|---------|-----------|-------|
| バス・かめ | つみき・さかな | たこやき・すいとう | たまごやき |
| うみ・せみ | ばなな・いちご | ながぐつ・やきそば | らんどせる |



「らっぱ」→3音 「げーむ」→3音 「にんじん」→4音 「ちょうちょ」→3音
「ちょ」は1音として数えよう

わらべうたであそぼう

わらべうたの良さはまた述べますが、その中で「手遊び歌」が良いと子どもの発達の観点からも言われています。

子どもが言葉を獲得していくには、視覚が大きな役割を占めています。言葉に動きや物が加わって強化され、動作と同時に言葉を発していきます。赤ちゃんのバイバイやハイと手をあげるなどがその表れですね。4、5歳になると聞く事が重要視されますが、就学までは手指に神経を集中させる指あそびをしてみましょう。

- | | | | | |
|------|------|------|-----|----|
| イチク | タッチク | タエモン | サン♪ | 7回 |
| タエモハ | イクラデ | ゴーワン | ス♪ | 7回 |
| イッセン | ゴリンデ | ゴーワン | ス♪ | 7回 |
| モウチツ | ト♪ | モーチツ | ト♪ | 6回 |
| スカラカ | マカラカ | スッテン | ドン♪ | 7回 |
- 《♪は休符で動きを止めます。右は動かす回数》

遊び方・・・①指先、指の付けを親指から順に人差し指で指していき、最後指先に止まったらその指を折り曲げる。
②指先だけ順に指し、最後に当たった指を折り曲げる。
③大人が後ろから子どもの手を取り遊ぶ。
子どもに合わせて遊んでください。リズムカルな動きに合わせて言葉を発するのは意外と難しいものです。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。
夢と希望のもてる たからっこを

応援します!

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。